

記事掲載のお知らせ

シンガポール経済開発庁（EDB）の webpage に弊社の特集記事を掲載頂きました
下記に記事の一部抜粋をご紹介致します



エンゼル・マニュファクチャリング・シンガポール

ジュロン・イノベーション・ディストリクトの次世代スマートファクトリー

世界のIT市場は、2020年の7.8兆ドルから、2025年には11.8兆ドルに達すると予想されている。* テクノロジー産業は、世界的に最も急速に成長する産業として、最も価値ある産業の一つといわれている。

Fortune誌の「2020年急成長企業100社」のうち20社がテック企業であった。今日の複雑でダイナミックな世界では、ハイテクが新たな競争優位性の源泉となることが多く、あらゆる業界でデジタル化が拡大している。カジノゲーミング産業も同様に、デジタルトランスフォーメーションへの旅に出ている。特にディーラーのミスを防ぎ、またプレイヤーによる不正行為を検出するといった用途でデジタル化が進み、カジノゲーミング産業の品質向上に貢献している。そんなカジノゲーミング産業における代表的な企業がエンゼルグループだ。同社はトランプ、チップ及びその読み取り装置での世界のリーディングカンパニーであり、その生産システムで次世代技術を取り入れたスマートファクトリーを実現している。今回はシンガポールに設立されたエンゼル・マニュファクチャリング・シンガポール社の最高執行責任者（COO）兼取締役の平野氏にお話しを伺った。



高精度、高品質なものづくりの追及

エンゼルでは、トランプへの「高精度、高品質なものづくり」に妥協を許さない強いこだわりをもって製造を行っている。トランプ専用原紙やインクやコーティング材などの素材開発、印刷やカッティング技術などのものづくり技術開発に加え、品質検査技術・数量カウント技術等のデジタル技術を融合させて、高精度高品質な製品造りに加えて、No one touch productsを実現している。カジノゲーミング産業においては、ゲームの健全性を保つため、一般用のトランプと比べて桁違いに厳格な基準で製造されたトランプが求められる。エンゼルグループのトランプは独自の情報がトランプに印刷され、自社開発したセキュリティ読み取り機能付き電子ディーリングシューに対応している。高精度高品質なトランプに加えて、近年ではAIやRFIDを用いたデジタルテクノロジーによってカードやチップのアナログ情報をデジタル化する技術開発に注力しており、カジノゲーミング産業の業務運営の高度化やセキュリティ向上にも貢献している。

記事全文については下記の EDB webpage をご参照ください

<https://www.edb.gov.sg/ja/industries-case-studies/case-studies-library/angel.html>

2021年07月02日
エンゼルグループ株式会社
広報担当